

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
 コード番号 5070 URL <https://draft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山下 泰樹
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 (氏名) 熊川 久貴 TEL 03-5412-1001
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,084	45.9	52	—	31	—	△21	—
2022年12月期第3四半期	4,169	△17.8	△377	—	△394	—	△310	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △6百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 △303百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△2.11	—
2022年12月期第3四半期	△30.95	—

(注) 2022年12月期第3四半期及び2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	5,280	2,941	55.4
2022年12月期	5,724	2,994	52.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,923百万円 2022年12月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	26.7	780	619.7	750	756.2	450	—	44.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	10,041,500株	2022年12月期	10,040,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	ー株	2022年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	10,040,475株	2022年12月期3Q	10,038,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その記載内容を当社として保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の経済活動はもとより個人の活動も含めた社会活動全体の正常化を受け、原材料価格やエネルギーコストの高止まりなどの影響は否めないものの、生活全般のリバウンド需要や訪日客需要の拡大なども顕在化しており、経済全体で見るとその回復基調が持続する状況となっています。

創業より、「ALL HAPPY BY DESIGN」を掲げ、従来にはない新しい空間デザインの提供など、デザインによる社会課題の解決を目指している当社グループでは、プロジェクトを「レギュラープロジェクト(注1)」「プロポーザルプロジェクト(注2)」「リーディングプロジェクト(注3)」の3つに分類し、「レギュラープロジェクト」を収益基盤としつつ、独自組織として設置している「山下泰樹建築デザイン研究所」を中心に「プロポーザルプロジェクト」「リーディングプロジェクト」で新たな事業の形、新たなデザインの価値を自ら創出する取り組みを推進してきました。これらの中では、山下泰樹がデザインを手がけたレギュラープロジェクトの中に位置付けられる兼松東京本社オフィス(東京都千代田区)が2023年8月に第36回日経ニューオフィス賞にてニューオフィス推進賞<経済産業大臣賞>を受賞するとともに、11月に入ってからのこととはなりますがロンドンで開催されたSBID International Design Awards 2023において、2,000㎡以上のオフィスデザイン部門におけるアジアの最優秀賞を受賞しております。

こうした活動をベースとする当社グループが提供するデザインへのニーズは、企業の経済活動の活発化ならびに社会全体の正常化傾向を背景に堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,084,597千円(前年同期比145.9%)となりました。内訳としては、従来からの主戦場である「オフィス」領域が3,005,153千円(前年同期比110.9%)であるのに対し、「商業施設・都市開発・環境設計・その他」領域が3,079,443千円(前年同期比211.1%)となっており、両領域とも伸長する中でオフィス以外の領域での伸長が大きく、過半を占める構造となっています。

一方、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費に関しては、前年から大幅増となっているものの、その増加要素については、DAFT about DRAFTのミラノサローネ等大型展示会への出展費用や旧オフィス二重家賃等のオフィス移転関連費用、陣容拡大に伴う人件費増などとなっており、いずれも計画通りの発生であることから、販売費及び一般管理費全体でも計画内運用となっています。ただし、売上高が前年を大幅に上回ったこと、また売上総利益が売上高以上に伸長していることと合わせて、営業利益は52,511千円(前年同期から429,661千円の増加)となりました。ここに、為替差損等による営業外費用が加わり、経常利益は31,908千円(同426,006千円の増加)、オフィス移転に伴う資産除去債務等の損金不算入項目による法人税の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,220千円の損失(同289,519千円の良化)となりました。

※ 用語解説

- (注) 1. 「レギュラープロジェクト」は、クライアントからの依頼により獲得する受注型プロジェクトで、高い評価を得ているオフィスデザイン等、当社グループの業績の基盤を形成しております。
2. 「プロポーザルプロジェクト」は、「レギュラープロジェクト」と「リーディングプロジェクト」の中間に位置し、当社グループが自ら企画・提案し、場合によっては先行投資を行うプロジェクトで、受注型とは異なる収益モデルを実現いたします。
3. 「リーディングプロジェクト」は、大規模な建築コンペティションや設計競技を通して挑戦するプロジェクトで、新たなデザイン領域を開拓し、当社グループの設計技術及びブランド価値を向上させる取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,280,555千円となり、前連結会計年度末と比較して444,377千円減少いたしました。これは、主に売掛金及び契約資産が547,355千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,338,898千円となり、前連結会計年度末と比較して391,311千円減少いたしました。これは、主に長期借入金が306,787千円増加した一方、買掛金が443,739千円、短期借入金300,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,941,656千円となり、前連結会計年度末と比較して53,065千円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失21,220千円を計上したこと及び配当金の支払い50,200千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、売上高の見通しを「期首におけるプロジェクトストック（見込み受注残高）」「期中の週平均引合い額」「獲得率（引合い案件のうち、実際に受注に至る案件の金額割合）」の3つの指標により計算しております。特に、2023年12月期計上予定の案件については、前年度以上に当該計算による管理スキームの精度を高め、より確度の高いものとして運用しています。そのうえで、2023年8月14日に発表いたしました「2023年12月期第2 四半期決算短信」「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」の通りの業績予想としておりますが、その後も、各3指標とも概ね計画通りに推移していること、販売費及び一般管理費についても計画通りの運用となっていることから、2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,534,440	1,665,101
売掛金及び契約資産	2,179,706	1,632,351
商品	63,431	86,455
原材料及び貯蔵品	74,603	73,670
仕掛品	42,816	241,094
その他	363,416	243,266
流動資産合計	4,258,415	3,941,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	601,098	511,562
減価償却累計額	△174,452	△83,207
建物及び構築物 (純額)	426,645	428,354
その他	299,014	361,699
減価償却累計額	△108,013	△128,978
その他 (純額)	191,000	232,720
有形固定資産合計	617,645	661,075
無形固定資産		
のれん	210,036	161,566
ソフトウェア	25,025	20,408
ソフトウェア仮勘定	42,108	44,990
無形固定資産合計	277,170	226,964
投資その他の資産		
敷金及び保証金	480,197	338,607
繰延税金資産	37,276	52,612
その他	54,228	59,354
投資その他の資産合計	571,701	450,575
固定資産合計	1,466,517	1,338,615
資産合計	5,724,932	5,280,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,159,181	715,441
短期借入金	550,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	123,336	346,885
未払法人税等	8,988	27,374
賞与引当金	—	44,893
工事損失引当金	—	1,560
完成工事補償引当金	8,000	12,000
その他	597,655	350,907
流動負債合計	2,447,161	1,749,062
固定負債		
長期借入金	283,049	589,836
固定負債合計	283,049	589,836
負債合計	2,730,210	2,338,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,061	807,260
資本剰余金	787,061	787,260
利益剰余金	1,373,846	1,302,426
株主資本合計	2,967,968	2,896,947
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,848	26,669
その他の包括利益累計額合計	11,848	26,669
新株予約権	14,905	18,040
純資産合計	2,994,722	2,941,656
負債純資産合計	5,724,932	5,280,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,169,297	6,084,597
売上原価	2,950,857	4,075,390
売上総利益	1,218,439	2,009,207
販売費及び一般管理費	1,595,589	1,956,695
営業利益又は営業損失(△)	△377,150	52,511
営業外収益		
受取利息	21	13
保険解約返戻金	2,266	2,313
その他	878	2,958
営業外収益合計	3,166	5,286
営業外費用		
支払利息	10,138	10,127
為替差損	5,881	11,509
支払手数料	4,088	4,251
その他	5	—
営業外費用合計	20,113	25,888
経常利益又は経常損失(△)	△394,097	31,908
特別損失		
固定資産除却損	—	26,653
特別損失合計	—	26,653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△394,097	5,254
法人税、住民税及び事業税	4,336	41,811
法人税等調整額	△87,694	△15,336
法人税等合計	△83,357	26,475
四半期純損失(△)	△310,739	△21,220
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△310,739	△21,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△310,739	△21,220
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,394	14,821
その他の包括利益合計	7,394	14,821
四半期包括利益	△303,345	△6,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,345	△6,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。